

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	音声障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	二年次		学期及び曜時限	前期 木曜2限 他	教室名	405教室
担 当 教 員	門脇 康浩	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、 摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施していた。			
《授業科目における学習内容》						
音声障害の種類と内容、検査法、および治療・訓練の理念とその方法について習得する。音声障害について専門的な知識・ 技術を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「言語聴覚士のための音声障害学」医歯薬出版 【参考図書】「言語聴覚士ドリルプラス 音声障害」診断と治療社						
《授業外における学習方法》						
テキストの精読・授業のまとめレポート						
《履修に当たっての留意点》						
発声発語にかかわる神経・筋肉の機能・構造・病態を理解したうえで音声障害を診れるようになって欲しい						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	声の特性と物理的特徴について理解し、説明できるようになる。	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、 授業終了時に示す課題 を実施、参考テキストの 精読	
		各コマに おける 授業予定	声の特性・機能について			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	発声の生理とその調整(神経系の制御と呼気調節)について理解し、説明できるようになる。	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、 授業終了時に示す課題 を実施、参考テキストの 精読	
		各コマに おける 授業予定	発声の生理とその調整(神経系の制御と呼気調節)について			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	発声の生理とその調整(喉頭調節)について理解し、説明できるようになる。	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、 授業終了時に示す課題 を実施、参考テキストの 精読	
		各コマに おける 授業予定	発声の生理とその調整(喉頭調節)について			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	音声障害の定義と病態を理解して、その特徴を説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、 授業終了時に示す課題 を実施、参考テキストの 精読	
		各コマに おける 授業予定	音声障害の定義と病態について			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	音声障害の種類を理解して、その特徴を説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、 授業終了時に示す課題 を実施、参考テキストの 精読	
		各コマに おける 授業予定	声帯の器質的病変、運動障害に基づく音声障害、その他の音声障害			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査の種類と目的、基本的な検査の方法について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	検査の種類と目的、基本的な検査の方法について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価と鑑別診断について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	評価と鑑別診断について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	治療法の種類、音声治療の種類と理念について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	治療法の種類、音声治療の種類と理念について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	声の衛生指導、音声訓練の目的・種類・適応について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	声の衛生指導、音声訓練の目的・種類・適応について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声訓練の方法について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	音声訓練の方法について		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	音声訓練を実施できる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	音声訓練の演習実施		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	無喉頭音声、気管切開患者への対応について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	無喉頭音声、気管切開患者への対応について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	無喉頭音声患者の実際を理解し、説明できる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	清音会患者との交流と体験談を聞く		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管切開患者の実際を理解し、説明できる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	清音会患者との交流と体験談を聞く		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	音声障害について理解し、説明できるようになる	教科書 参考図書 配布プリント	配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読
		各コマにおける授業予定	復習・まとめ		